

- 特集:カルテの開示について  
院長 合田俊宏
- 栄養室からこんにちは  
テーマ/夏イカ  
「イカと野菜の塩炒め」の作り方
- この人と60分  
外来婦長 佐藤陸子さん
- 臨床心理士から
- 訪問看護ステーションあいしんだより
- ぱるすちゃんの投書箱

は

P U 3 S E



医療法人社団愛心館  
愛心メモリアル病院

訪問看護ステーション  
あいしん

診療日	診察受付(診察開始は受付開始時間の30分後より)
月・火・木・金	8:30~12:30/13:30~18:00
水・土	8:30~12:30/13:30~16:00
日・祝	休診、その他に12月30日から1月3日はお休みさせて頂きます。

面会時間 一般病棟は7:00~21:00まで、  
集中治療室は11:00~11:30、18:00~18:30

診療予約受付 診察受付時間に準じます。  
(ご予約は受診日前日の正午まで)

# 特 集

## カルテの開示について

院長 合田俊宏



皆様にはいつもお世話になっております。さて、周知の通り、数年前よりカルテの開示を求める動きが全国的な高まりを見せています。法制化は種々の事情により見送られましたが、医師会の自主的な取り組みとして開示を行うことになりました。具体的な開示の方法については各病院に任せることになり、当院でも昨年末以来、検討を重ねた結果、平成12月4月1日より医療情報の開示を行なうことになりました。診療情報とはカルテをはじめとする、画像、検査データなどすべての診療記録をさします。これを開示する目的は、当院の理念である「患者中心の医療」を実行するため、医療従事者と患者様とが情報を共有し、相互の信頼関係を深めることにより、質の高い医療を実現することにあります。この目的にそって、皆様のご期待にそえるよう、ご意見、ご質問などがあれば遠慮なくお聞かせください。では、開示の申請方法等についてご説明いたします。

### 開示を申し込みるのはどんな人?

- ①患者様ご本人
  - ②患者様が禁治産者の場合はその法定代理人(委任状は不要)
  - ③患者様が未成年者の場合はその法定代理人(委任状が必要)
  - ④患者様ご本人から代理権を与えられたご親族の方  
(委任状が必要)
  - ⑤実質的にお世話をされているご親族、あるいはそれに準ずる方  
(委任状が必要)
- ※患者様ご本人がすでにお亡くなりで委任状の取得ができない場合はご相談ください。

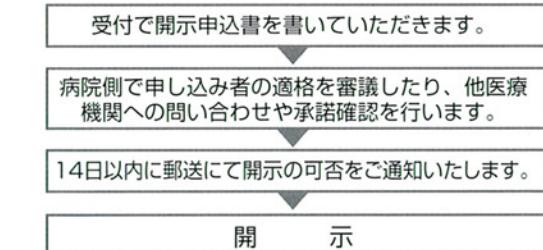
### どのように開示されるの?

- ①カルテの閲覧(病院職員立会いのもと)
- ②カルテの謄写(コピー)
- ③要約書(カルテの内容を簡略化して交付)
- ④口頭説明(医師による説明会を設定)

患者様のご要望に  
そえるように努力します。



### 開示までの流れはどうなっているの?



### 費用はどれくらいかかるの?

- ①開示基本料:2,000円
- ②謄写(コピー代):20円/枚  
フィルム(コピー代)
- レントゲン写真(大4):500円/枚
- 造影写真  
(サーマルフィルム):100円/枚
- 造影ビデオ画像:1,000円/本
- 要約書
- A4 1枚:5,000円/件
- A4 2枚:10,000円/件
- ③消費税(5%)



以上がカルテ開示のおおまかな  
説明です。何かご不明な点が  
ございましたらお気軽に  
おたずねください。

## 栄養室から こんにちは

## もうすぐ夏。夏はイカがおいしい季節です。

6~9月になるとスルメイカが出回ってきます。イカの肉の成分は魚肉とあまり変わりなく、たんぱく質も良質で栄養成分があります。成分の特徴としては、アミノ酸の一一種であるタウリンが多く含まれていることです。このタウリンは、血圧を正常に保つ作用があり、心筋梗塞や狭心症を予防するのに役立ちます。さらに悪玉コレステロールや中性脂肪を減らし、善玉コレステロールを増やすともいわれます。タウリンは、皆さんのが好きな魚介類のエビ、貝、カニなどに含まれていますが、食べ過ぎには注意してください。新鮮なイカは刺し身にして食べると、おいしいのですが、今回は、イカを炒めたりゆでたりした料理をご紹介します。

### ■イカと野菜の塩炒め

材料(4人分)	イカ	1パイ(頭のみ)
	ピーマン	1/2個→短冊切り
	赤ピーマン	1/2個→短冊切り
	しいたけ	3枚→薄切り
	しめじ	1パック
	玉ネギ	1/2個→薄切り
	たけのこ	1/2個→短冊切り
	グリーンアスパラ	5本→短冊切り
	長ネギ	1/4本→みじん切り
	塩	1つまみ
	こしょう	適量
	酒	小さじ1
	油	小さじ1
	ごま油	少々

## 訪問看護 ステーション 「あいしん」だより

### 介護支援 ステーションは大忙し

介護支援ステーションあいしんでは、介護保険制度開始目前の4月1日までケアプラン作成に大忙しの毎日でした。書類の山に埋もれ、朝から電話を片手にあちらこちらのサービス業者や利用者様との打ち合わせが続ましたが、それでも3月24日には全体の8割のケアプラン作成を

終え、他事業所へのプランの配布もほぼ完了、わずかに残った訪問看護ステーションあいしんのみをご利用の方に全力投球という段階までこぎつけました。ケアマネージャー、各サービス事業者も新しい制度にとまどいを見せながらも「おたがいさまです」と労をねぎらいつつ頑張っております。それでもケアプランを持参した事業者から「あいしんさんが一番早かったですよ」と言われて、驚く反面ホッとしています。ちまたのニュースで「遅れるケアプラン」と言われている実情を実感した次第です。



向かって右／山下美智子(所長、ケアマネージャー)  
左／伊藤亜美(主任、ケアマネージャー)

介護保険制度は区役所の窓口への申請から始まり、要介護認定を受けるところまでが第一段階で、その後(並行して進む場合もある)ケアプラン作成、サービス提供という流れで進みます。新しい制度ですのでご不明な点も多々あるとは思いますが、利用希望の方や制度をよく知りたいという方はステーションをおたずねください。

#### [作り方]

- ①フライパンに油を熱し、みじん切りにした長ネギを炒める。
  - ②長ネギがきつね色になったら、他の野菜を入れて炒める。
  - ③最後にイカを入れて炒め、しお、こしょうで味を整えて、仕上げにごま油で香りづけをすればできあがり。
- \*家庭で行う中華料理のコツはティフロン加工のフライパンを使うこと。こげつきにくく、たくさんの量を一度に入れ過ぎないように分けて炒めるようにすると油っぽくならずにすみます。

#### [スピードアップメニュー／材料はそのままで味付を変更!]

- 食欲のない時は…イカと野菜をゆでて梅肉とみりんとしょう油で梅だれを作り、和風に仕上げます。
- 暑いときは…キムチの素や豆板醤を入れて炒めるとピリッと辛口で食欲増進になります。
- さっぱりと食べたい時は…酢とサラダ油に少量の砂糖を加えてドレッシングを作り甘酢サラダに。

### この人と60分!!

#### 第4回

★ゲスト★

外来婦長 佐藤陸子さん

外来看護室のスタッフは現在何人ですか？

佐藤：7人です。それぞれが役割を分担しながら仕事を進めています。

外来看護において最も大切なことは何だとお考えですか？

佐藤：患者様と話をする機会や時間をできるだけ多くとって、病気の状況はもちろん、患者様のプロフィールやものの考え方などをよく知るということではないでしょうか。初めて来院された患者様と私たち看護婦が最初に時間をかけてお話をさせていただくのもそのためです。

どのようなことが話されるんですか？

佐藤：「予診」として行われるわけですから、やはり病気のことが中心になりますが、どうしても「よそ行き」の言葉で語りがちな患者さんの気持ちをやわらげてあげることも重要な要素です。時には人生の先輩である患者さんにいろいろとお話をうかがうなんてこともありますし。

愛心メモリアル病院の良さは何だとお思いですか？

佐藤：すべてのスタッフが一丸となって仕事をするという点でしょうか。急患の時などに顕著ですが、それ以外の時でも基本的には同じですね。特に外来にいる看護婦は、病棟、ICU、手術室、血管造影室などの経験者揃いですから、何が起きたても大丈夫(笑)。冷静に対応していきます。

佐藤婦長は以前、大学病院に勤務されていたそうですが、そのあたりとの違いはありますか？

佐藤：組織が大きくなればなるほど、セクション間の横のつながりは希薄になっていきますよね。でもうちの病院にはそれがない。とにかくみんなでやる。そのかわり、何時であろうと病院に呼び出されますけどね。手術して退院した患者さんと、外来通院を通して再会できるというのも大学病院時代にはなかった喜びです。

ご趣味は？

佐藤：20代のころからセントポーリアを育てるのが好きで、今でも自分の子供のように可愛がっています。家の中にはセントポーリアを育てるスペースをしっかり確保しました。



本日はお忙しいところをありがとうございました。

## 近年注目を集めている 「音楽療法」に同行させていただきました。

患者さんの精神的なカウンセリングやさまざまな相談に応じるのが臨床心理士の主な仕事。総合相談室に籍を置く、臨床心理士の長崎亮一さんは学生の頃から音楽療法に興味を持ち、自らも実践してきたという事です。今回は病院を飛び出して、患者さんのお宅を訪問する長崎さんに同行させていただき、実際の音楽療法を見せていただきました。

長崎さんが訪れたのは大正5年生まれ、今年83歳になるTさん宅。Tさんは近年軽い痴呆が進み、過去の記憶なども意識のなかから消えてしまっている状態。そんなTさんの回復の助けになればと、娘さんが愛心メモリアルに相談したのが「音楽療法」。若い頃から歌を歌うのが大好きだったというTさんの記憶の糸を歌で辿ろうというこの療法、少しずつ効果を現しはじめているようです。最初は長崎さんのギターのリードで发声練習。大きな声こそ出ないものの、声を出そうとする意識はしっかりと確認できます。子供のころ大好き



長崎亮一／臨床心理士

だった『夕やけこやけ』、ご主人がよく歌っていた『南国土佐を後にして』、ご自身がファンという藤山一郎の『酒は涙かため息か』などを足でリズムをとりながら楽しそうに歌うTさん。「今日もよく声が出ているよ、疲れないかい？」とやさしい言葉をかける長崎さんに「大丈夫」と小さくうなずき、さらに数曲。「普段は何もしようとしないのに、歌だけは自ら進んで歌うから不思議」と娘さん。歌っている途中で寝てしまうこともあるTさん、はたしてどんな夢を見ていることやら。



### 今回の投書

Q

年をとると、屈んだり、靴の脱ぎ履きの際などに片足で立つの不安定になるので、スリッパに履き替えるのが億劫です。また、玄関の上がり口が、他の方が脱いだ靴でいっぱいになっていて足元の危なさを感じております。他の病院では土足で入れる所も多いようですが、こちらではその予定はないのでしょうか？

A

当院では、開院以来、館内の清潔状態を保つために、ご来院の皆様にはスリッパに履き替えていただいております。おかげさまで館内の清潔状態については、調査機関の報告でもきわめて良好である旨の評価をいただいているところです。またスリッパについても、気持ち良く利用していただきたい

と、来院される方おひとりに毎日消毒済のものをご用意しております。確かに、足元に不安のある方からの『スリッパに履き替えずに館内に入れるとよい』といったご要望はもっともな事と受けとめておりますが、外来・入院を問わず、患者様にとって少しでも良い環境を保ちたいとの思いがございますので、なにとぞ趣旨のご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。このたびの投書から宣伝不足を感じ入りましたが、玄関に用意しております椅子は、脱ぎ履きの際にご利用いただくことを想定して準備しております。どうぞご利用ください。また、玄関の上がり口が、足元に不安のある方にとって、靴ひとつ分をまたぐこともかなりの負担になるということをご利用の皆様にご理解いただき、靴箱へ入れていただけます様、当院からも切にお願い申し上げます。

このコーナーでは皆様からのご意見・ご質問などを募集しております。

### 編集後記

これまで「開かれた…、オープンな…、ガラス張りの…」といった言葉は、ある意味では宣伝文句として使われることが多かったが、近年は度重なる失態に対する改善策として、または批判をかわす手段として使われることが多い様である。しかし我々は「ある共通の目的のために、当事者間で共通の認識をもつ」といった本来の意味として、この言葉を使わなくてはならない。

### 医療法人社団 愛心館

〒065-0027 札幌市東区北27条東1丁目1-15 TEL(011)752-3535

発行／医療法人社団 愛心館  
発行日／平成12年6月1日  
編集／総務課  
発行責任者／高橋 順一郎